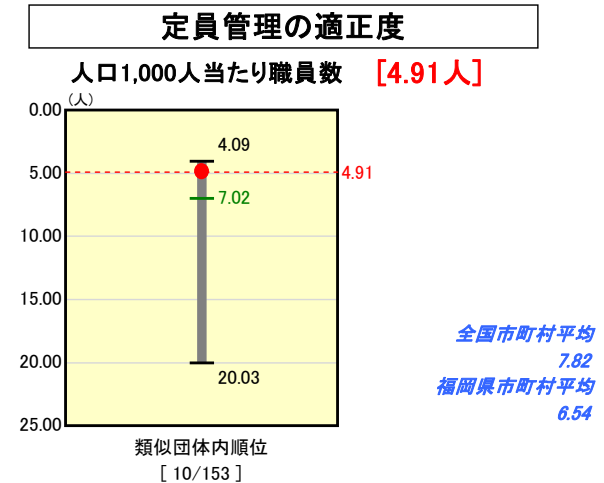
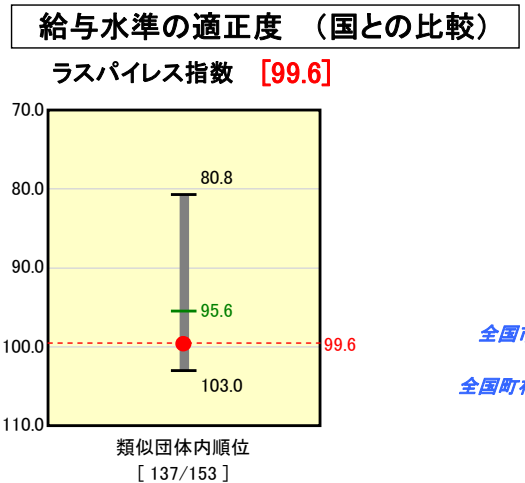
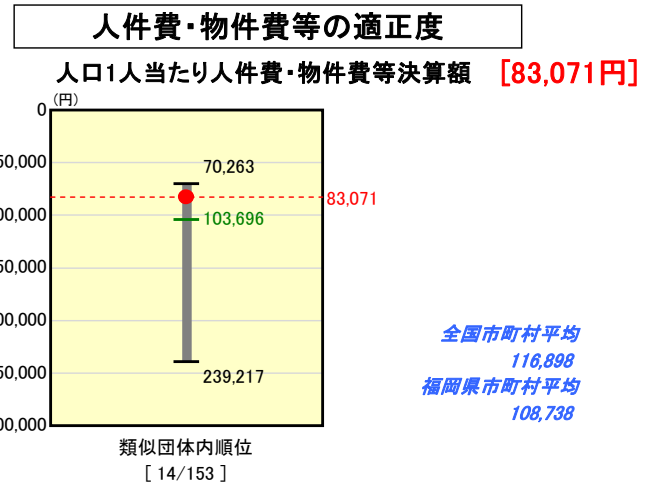
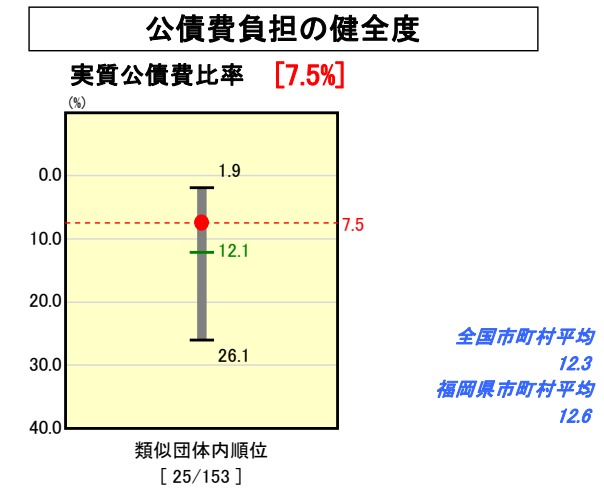
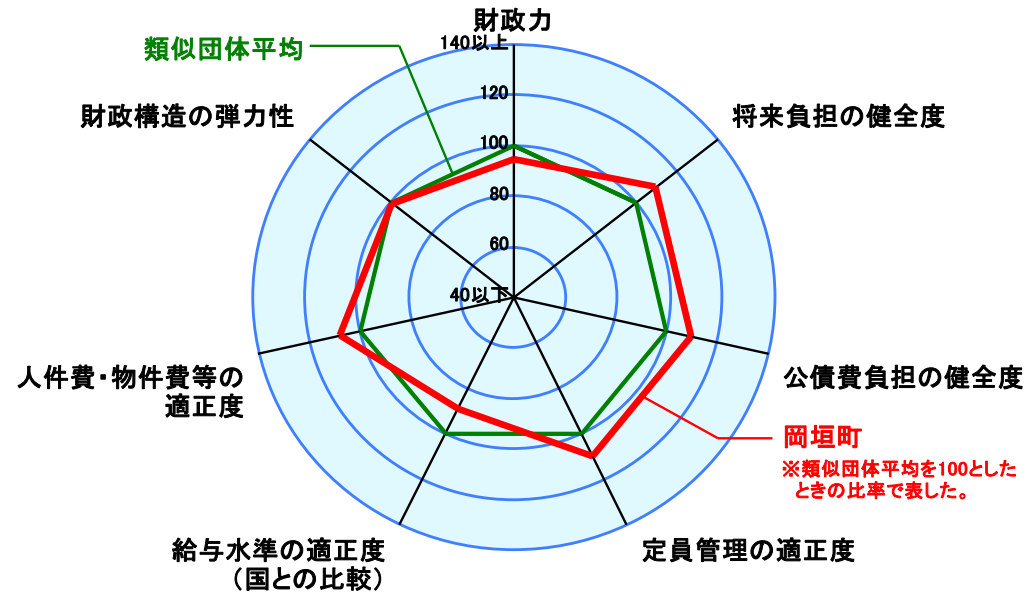
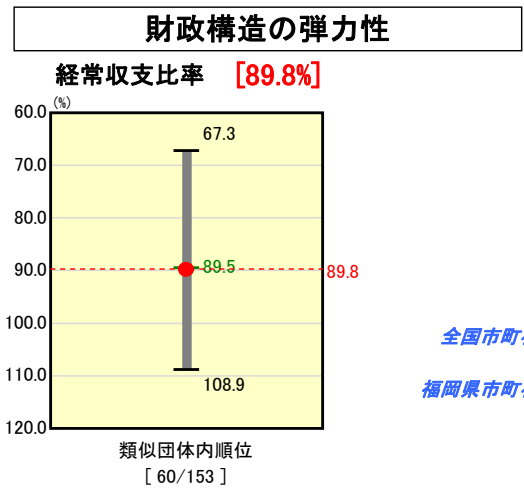
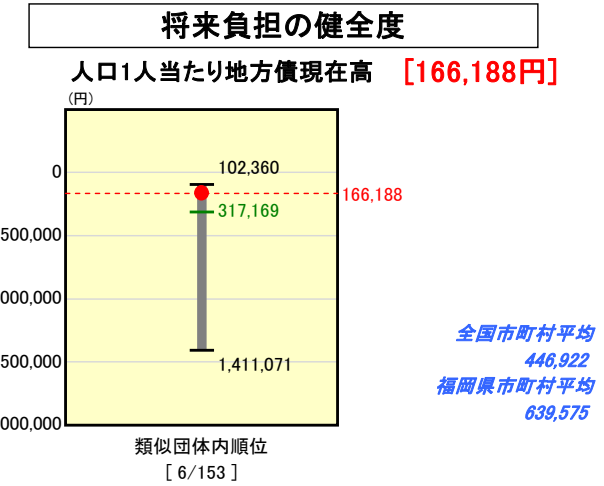
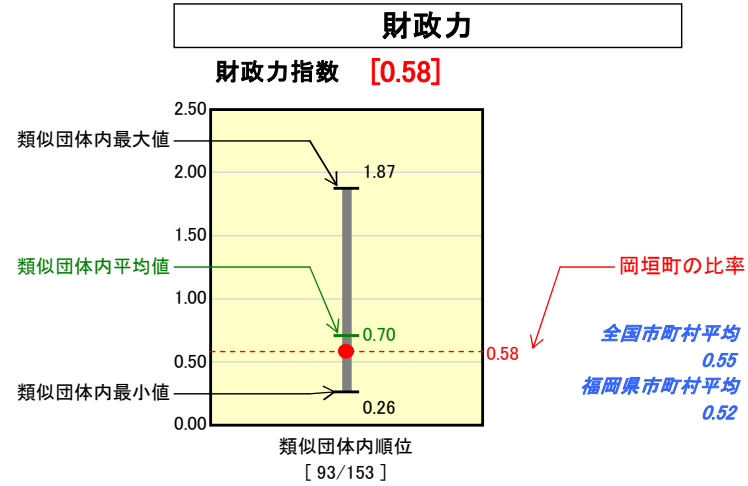


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福岡県 岡垣町

人口	32,203 人(H20.3.31現在)
面積	48.51 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,703,694 千円
歳出総額	7,377,203 千円
実質収支	312,726 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数  
町の歳入の根幹となる町税において、税源移譲による個人住民税の増加したことにより、自主財源が増加したため、数値が上昇した。今後、企業誘致や人口増加を図るまちづくりを行っていくとともに、収納体制の強化による収税の向上をするなど歳入を確保し、数値の向上に努める。

○経常収支比率  
地方交付税など歳入経常一般財源は減少したが、人件費、公債費、物件費、繰出金の減少により歳出経常一般財源も減少したため、数値はやや改善した。今後も、行財政構造改革を継続し、事務事業を見直すとともに経常的経費の削減に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
人件費は、行財政構造改革の効果により、全国平均・県平均を下回っている。物件費は、リース料などの増加があるが、ISOの取り組みによる需用費の減少もあり、若干減少した。今後も、行財政構造改革の取り組みを継続していく。

○人口1人当たり地方債残高  
全国平均・県平均を下回っている。今年度も、元利償還金が減少している。今後も、適正な地方債管理と後年度負担を視野に入れた地方債発行に努める。

○実質公債費比率  
全国平均・県平均を下回っている。今後も、事業の必要性・有効性を鑑み、計画的な事業展開を図るとともに、後年度財政措置のある地方債の発行や、基金の活用による起債発行額の抑制などに努める。

○ラスパイレス指数  
類似団体の平均値よりも高い指数となっているが、平成18年度から初任給基準を国家公務員に準拠するとともに、職務・職責に応じた昇給制度に改めており、適正な給与体系への転換を図っている。今後も、職員定数の削減と併せてより一層の人件費削減に努める。

○人口1000人当たり職員数  
かねてから給食調理業務の民間委託や指定管理者の導入を推進してきており、類似団体と比較して少ない職員数となっているが、今後も定員適正化計画(退職者数に関わらず新規採用職員を毎年2名とする)に基づき、職員定数の削減を図る。